

災害訓練を実施しました

6月28日(水)午前、鴨川市の津波避難訓練に合わせ、当院でも災害対策本部を中心とした机上訓練を実施しました。(写真)

当院は基幹災害拠点病院の指定を受けており、平時より各種災害に備えた訓練を行う必要があります。今回は午前9時に房総沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、気象庁から鴨川市大津波警報10メートルが発令されるという設定の下、詳細なシナリオは公開せず訓練が進められました。

- 訓練では、①院内各部署からの被害状況報告を迅速かつ正確に収集する、②広域災害救急医療情報システム(EMIS)を使用した速やかな情報発信を行う(地域の医療機関の情報を得る)、③鴨川市災害対策本部や安房保健所など行政機関との連携を図る、の3つ目標を掲げ、災害対応マニュアルに基づいて担当ごとに情報収集や被害状況の確認を行い、医療体制の整備を行うまでの一連



の流れを確認しました。

また、自衛消防隊による院内被災者の救出・救護活動の場面では、安房郡市消防本部の皆さまにご協力いただき、さまざまな状況に応じた搬送法のレクチャーをいただきました。

当院では、今回の訓練で得られた反省点や課題をもとに、災害対応の見直しを行うとともに、いざという時に備え、今後とも一層の改善に取り組んでまいります。



Kameda Cup 2017 in Kamogawa

医療従事者のためのサーフィン大会「Kameda Cup 2017 in Kamogawa」(主催：亀田メディカルセンター/後援：鴨川市)を7月16日(日)鴨川市東条海岸マルキポイントにて開催いたします。

- 競技に参加する楽しみの他に、プロサーファーによるエキシビジョンや親子ビーサン飛ばし大会、タヒチアンダンス、地元バンド ジャスティンスタッフライブ、フラやヒップホップダンスなどステージイベントも行います。また会場には地元鴨川の名店が勢ぞろいした屋台も出店し、サーフィンをする方もしない方も、大人も子どもも楽しめる内容となっています。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

■日時：7月16日(日)

サーフィン大会 / 6:30~17:30

会場イベント / 10:30~17:00

親子ビーサン飛ばし大会 / 12:30~(参加費無料)

※参加資格は親(祖父母可)と子(小学6年生以下)のペアであること。当日6:00より本部テントにて受付。

■場所：千葉県鴨川市東条海岸(マルキポイント)



「お薬手帳」活用のススメ

当院では患者さまへお薬手帳の活用を推進しています。お薬の受け取りの際に、お薬手帳を薬局窓口に必ずご提示ください。



お薬手帳があれば、どこへ行っても過去に使用したお薬や現在使っているお薬について伝えることができ、自身の健康管理に役立てることができます。通院時は診察券、保険証と共にお薬手帳を忘れずにご持参ください。なお、お薬手帳が不要な方はお薬の受け取り時、薬局窓口にお申し出ください。

便失禁に対する無料電話相談

便失禁でお悩みの方に治療法を含む適切な情報を提供する目的で、毎月、専門医による無料電話相談を実施しています。どうぞこの機会にご相談ください。

■日時：7/12(水)、7/26(水) 14:00~16:00

■電話番号：04-7099-1206(直通)

■対応者：角田明良医師または高橋知子医師



腎移植について

薬剤室 渡辺則夫

第10話 「腎移植における免疫抑制剤について」

腎移植において、移植された腎臓（移植腎）はその人にとって異物として認識されるため、その異物を排除しようとする「免疫」という機能が働きます。免疫により移植腎が攻撃されてしまう「拒絶反応」が起きると、元気な移植腎もその機能を失ってしまいます。そのため**手術前から免疫抑制剤を使用することで、拒絶反応を抑え、移植腎を守る必要があります**。今回はこの免疫抑制剤についてお話しいたします。

【免疫抑制剤の歴史】

過去には免疫抑制剤の種類が限られていたため、拒絶反応の制御が困難な事例がありました。そのような事例では、お薬の量が増え、副作用が多く発現したと言われていました。しかし、現在では使用できる免疫抑制剤の種類が増えました。複数の免疫抑制剤を組み合わせることで、少ない量で最大限の効果を得ると同時に、副作用を減らすことができるようになりました。

【主な免疫抑制剤(内服薬)】 当院では主に以下 (①②③) のお薬を組み合わせ使用しています。

カルシニューリン阻害		
①	代表的な商品名	グラセプター [®] カプセルなど
	主な副作用	・腎臓への負担 ・肝臓への負担 ・多毛, 脱毛 ・血圧, 血糖値, カリウム値, 尿酸値の変動 など
代謝拮抗薬		
②	代表的な商品名	セルセプト [®] カプセルなど
	主な副作用	・下痢 ・食欲不振 ・白血球減少など
	注意点	・妊婦や妊娠している女性には使用出来ません。妊娠可能な年齢の女性の場合には予め妊娠検査が陰性であることを確認します。また、このお薬を内服中および内服中止後6週間は避妊を行う必要があります。
ステロイド薬		
③	代表的な商品名	メドロール [®] 錠など
	主な副作用	・気分の変調 ・皮膚障害 ・血圧, 血糖値の変動 ・多毛, 脱毛 ・胃の不快感 ・骨粗鬆症など

【お薬は正しく飲みましょう】

免疫抑制剤の効果が弱すぎれば拒絶反応が起き、強すぎれば腎臓の働きの低下などの副作用が起きます。お薬の効果は、内服時間のばらつきや、内服タイミング（食前、食後など）の違いにより影響を受ける可能性があります。そのため免疫抑制剤は毎日決められた時間、決められたタイミングで飲み忘れのないように内服することがとても大切です。また一部の免疫抑制剤は適切な量に調節するために、血液中のお薬の濃度を測る必要があります。その際にも、内服時間・タイミングなどの影響を受けるため、お薬は決められた通り正しく内服しましょう。

【相互作用(お薬, 飲食物)】

他のお薬との併用や一部の柑橘類（グレープフルーツなど）、ハーブ茶などに含まれるセイヨウオトギリソウ（＝セント・ジョーンズ・ワート）の摂取により、免疫抑制剤の効果を強めたり弱めたりすることがあります（相互作用）。そのため新たにお薬を追加する場合には事前に相互作用を確認する必要があります。また免疫抑制剤の内服中はこれらの飲食物の摂取は避けて下さい。グレープフルーツによる影響は、数日程度続くことが知られているため注意が必要です。

※その他、相互作用に関して不明な点は医師、薬剤師にご相談下さい。

第11話では、心理的なサポートについてお話していきたいと思えます。

医師紹介 福本 竜也 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①神経内科
- ③剣道
- ④患者さまのため、誠心誠意、努力いたします

